

第6学年 外国語科学習指導案

日時 令和5年度10月5日(木) 5校時
場所 真龍小学校 6年雪組教室
児童 第6学年 23名
授業者 教諭 中島 雅人
ALT Cole Silva

1. 単元名 Lesson5 What country do you want to visit?

2. 単元の目標

- ・さまざまな国名を、聞いたり読んだりすることができるとともに、行きたい国やその国でできることの表し方を知って、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・旅行案内をつくって、行きたい国のよさをしょうかいすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ・行きたい国のよさをわかりやすく伝えようとしたり、世界のさまざまなくについて知ろうとしたりする。(学びに向かう力、人間性等)

3. 単元について

単元の導入では、まず、外国語専科教員やALTの旅行の体験を紹介する。その際に写真や動画などを利用し、Final Activityに使用する成果物のイメージとともに発表に対するイメージを膨らませ、児童が行きたい国(地域)を紹介してみたいと興味を持つことができるようにする。そして、友達や教師の話聞く活動を設定し、これまで興味をもっていなかった国(地域)にまで視野を広げることができるようにする。外国に目を向ける児童がいる一方で国内のことを外国語指導助手の先生や海外に紹介したい児童もいることが考えられる。そのため、「どのようなこと」を「だれに」紹介するのか、学習の方向性を示していく。

単元の中盤では、自分が紹介したい国(地域)を、理由を含めて友達と伝え合うことができるよう、情報を収集し、伝えたいことを整理する活動を位置付ける。発表を聞くときの態度や、伝えるときの方法についても考える場面を設け、伝え合う相手のことを考えたFinal Activityにつなげていく。

単元の終盤では、国(地域)やその国(地域)でできることを、発表する活動を行う。発表に向けた活動では、児童が最終的に行きたい国(地域)のよさを紹介できたと実感できるように、単元導入時の発表を想起させたり、相手意識をもって自然に英語で話すといった視点をもたせたりする。また、国(地域)やその国(地域)でできることの表現を聞いたり言ったりする場を設けるとともに、よりよく伝えるために工夫する場を設けていく。様々な国(地域)について知ろうとしたり、行きたい国(地域)をわかりやすく伝えようとしたりする姿勢も大切にしていける。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 国名やI want to visit[see] ……、 What country do you want to visit? を理解している。(知識①) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味がわかっている。(知識②) <技能> 訪れたい国やそこで何ができるかについて聞き取る技能を身に付けている。(技能)	友達が行きたい国やその理由を聞き取っている。(思・判・表①) 行きたい国の旅行案内を使って、行きたい国を紹介している。(思・判・表②)	友達が行きたい国やその理由を聞き取ろうとしている。 行きたい国のよさをわかりやすく伝えようとしたり、世界の様々な国について知ろうとしたりする。(態度)

5. 指導と評価の計画

時数	ねらい・学習内容 学習活動、など	評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	いろいろな国の映像を見て、紹介する国のことについて調べる。			
2 ・ 3	英語を聞いて、行きたい国やその理由について聞き取る。 いろいろな国について調べる。 国の言い方や読み方に慣れ親しむ。			
4 ・ 5	外国紹介のワークシートを作成して、発表練習をする。 国の読み方を覚える。			
6 本 時	ワークシートを使って、外国紹介をする。 英語を読んで、どの国か答える。	◆テスト (技能)	◆発表 (思・判・表②)	
7	単元を振り返る。	◆ペーパーテスト (知識①②、技能)	◆ペーパーテスト (思・判・表①②)	◆振り返り 態度

本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。

6. 本時について

(1) 研究主題との関連

【研究主題】

地域・社会に生きてはたらく力を育む厚岸町の教育
～育成を目指す資質・能力を明確にした授業改善～

【外国語部会 研究テーマ】

「児童生徒が主体的に考え、英語で表現する力の育成」
～小中連携・ICT活用による授業と指導方法の改善～

【本時でねらいとする資質・能力について】

本時の目標（資質・能力）の達成のため、以下の点を重視した活動を行う。

- ・自分が立てた学習計画に沿って、主体的に学習を進める活動
- ・自分が調べた国を、相手に伝わりやすいような配慮をしながら発表する活動
- ・発表者によりよく発表できるためのアドバイスをする活動
- ・アルファベットの文字を手掛かりに、いろいろな国名を読む活動

(2) 本時の目標

- ・自分が調べた国を相手に伝わりやすいような配慮をしながら発表したり、反応しながら聞いたりすることができる。(思考・判断・表現力等)

(3) 展開 (6/7)

過程	学習活動	教師の働きかけ	評価規準 (評価方法)
導入	(1) あいさつをする。(1分) (2) 友達と会話する。(2分) (3) めあてと見通しを確認する。(2分)	○ALT ○既習事項を想起できるようにする。	
自分が調べた国を、相手に伝わりやすいような配慮をしながら発表しよう			
展開 1	(4) 計画に沿った取り組みをする。(10分)	○個々の学習形態で計画に沿った活動になるように机間指導を行う。	
展開 2	(5) Final Activity の準備をする。(2分)	○聞き手の反応が大切であることを確認する。	
展開 3	(6) Final Activity(20分) 外国紹介を言ったり聞いたりする。	○クラスメイトの発表を通して、新たな発見ができるように聞くことを確認する。 ○聞くことに集中させるため、メモ等は取らないことを伝える。 ・学習が計画通りに進んでいない児童には、計画の見直しを促したり、発表内容に関わる助言・指導を行ったりする。	・タブレットに記録する。 話すこと〔発表〕 思考・判断・表現の評価基準 ・相手意識をもって発表している。(目線) ・聞き手に対する配慮がなされている。(声の大きさ、手振り身振り等) ・不自然な間を置かずに発表している。 A: 上記3点すべてが満足できる状況 B: 上記2点が満足できる状況 C: Bに達していない状況
展開 4	(7) 国名テスト(5分) 国名を読んでどこの国か答える。	・ロイロノートのテスト機能のゲームモード(β)を使用する。	読むこと 知識・技能の評価基準 15問×2点=30点満点
まとめ	(8) 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。(2分) (9) 終わりのあいさつをする。(1分)	・タブレット内の「単元指導計画」で今までの学習内容も振り返らせる。	